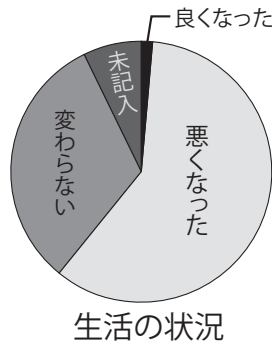


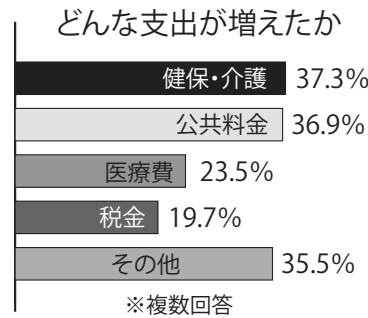


返信されたアンケートの山、1884通(4月10日現在)



日本共産党区議団が行ったアンケートに、沢山の切実な声が寄せられています。四月十日現在で一八四四通が返信されています。

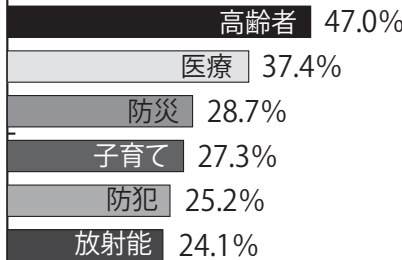
アンケートに 区民の切実な声



苦しくなったが全体の約六〇%
くらしについての質問には、

「苦しくなった」が約六〇%をしめ、区民の生活がさらに悪くなり続けている

区政に求めるもの



ことが明らかにになりました。「変わらない」も約三割で、くらしが好転する兆しはありません。収入が減った理由の一位は年金で二九%、給与も一七、九%でした。支出が増えたものは、健保・介護などの保険料が一位で、公共料金、医療費、税金と続いていて、物価よりも税金や公共料金などが区民のくらしを圧迫していることがわかります。

収入が減った理由の一位は年金で二九%、給与も一七、九%でした。支出が増えたものは、健保・介護などの保険料が一位で、公共料金、医療費、税金と続いていて、物価よりも税金や公共料金などが区民のくらしを圧迫していることがわかります。

高齢者福祉がトップ

区政要望では高齢者福祉が依然としてトップで、医療、防災と続き、子育て、防犯、放射能対策、雇用、教育、中小企業対策なども高い要求となっています。

アンケートにはこんな書き込みもありました。「私の収入は年金ですが、税金、健康保険、介護保険を引かれると一月十三万円ほどですが、

部屋代のほかに医療費がかかりますので生活は苦しく、一日はぼろ一食です。楽になりました」(六十代男性、年金) 区民のくらしはこのように深刻です。区民の要求に区政がどうこたえていくのかが問われています。

日本共産党区議団は、今回寄せられた沢山の区民のみなさんの要求やご意見にこたえるために全力で頑張ります。



予算特別委員会や、その他の委員会でも、区議団全員が、アンケートに寄せられた区民のみなさんのご意見を生かして充実した質問をすることが出来ました。

むだ遣いやめくらしを応援する
条例と予算組み替えを提案

今議会では日本共産党区議団は、アンケートにもとづき、①要介護四、五の方への月一萬円の介護手当の支給、②十八歳までの医療費無料化、③費用弁償の廃止という三つの条例提案をしました。

また、区役所の建て替えのための基金など不要不急の予算を削減し、条例提案の内容を実現する財源を確保して、住宅リフォーム助成の創設、放射能対策、出産祝い金の創設、特別養護老人ホームの食事代の助成など、福祉の充実のための予算を増やす予算組み替え動議も提案しました。

アンケート生かし、論戦・提案

区民の声を本会議でも委員会でも

組んでいます。

日本共産党区議団は、寄せられたアンケートをもとに議会での論戦に臨み、地域の要求実現の運動にも取り組んでいます。

また、一般質問でもアンケートに寄せられた「介護をしている母親がいなくなり、翌日に別棟の廊下で寝ているのがみにつかった」という話をとりあげて、待機者解消に見合う区の計画と、東京都に対して土地代の補助制度の復活を求めよと迫りました。



発行 日本共産党
葛飾区議会議員団
5654-8520(直通)
責任者 濱川ひとし

日本共産党
葛飾区議団だより

日本共産党区議団のホームページをごらんください
<http://www.cpi-media.co.jp/jcp-katusika/>



くらし応援で区政をリード

区民とともに実現

23区トップレベルの耐震補強助成

一昨年の震災以前から、共産党区議団は区内に旧耐震基準の木造住宅が三万戸以上あり、耐震補強を進めるために思い切った助成制度の拡充が必要だと主張してきました。

今年度からは耐震診断は上限五万円ですが原則無料。耐震補強の助成は、上限百六十万円、補助率も三分の二と大幅に拡充されました。

給食費が一部無料に

今年度から、区内の小中学校に三人以上の子どもを通わせる家庭の、第三子以降の子どもの給食費が無料になります。

また、党区議団は子どもた



区政報告会で議会報告をする中村しんご区議

待機者に心寄よせる 特養の増設計画を

区の特別養護老人ホームに申し込んで入所を待っている人のうち、亡くなった方が、七三〇人にも上ることが日本共産党の追及でわかりました。これは六年間の合計で、区が待機者の現状を六年も把握していないことが図らずも明らかになり、議会での追及で「増設は十分ではなかった」と区長は認めました。

今議会には、高砂団地跡地に特養ホームを求める請願が、七四〇〇筆もの署名を添えて再度提出されましたが、共産党以外の会派が反対し、請願を不採択としました。特養ホームの増設に背を向ける区とオール与党の冷たい姿が浮彫りとなりましたが、待機者解消に見合う施設整備の計画を作ることが急がれます。

ちの夏休みを取り上げているのは子どもたちを疲れさせ、部活の試合などにも影響し、問題だと主張してきましたが、区教育委員会は、夏休みの縮減を来年度から見直します。さらに、学校選択制の問題点も、今後検討されることになりました。

ワクチン助成が充実
子宮頸がんワクチンに続いて、今年からはヒブ、小児肺炎球菌のワクチンが無料となります。

アンケートで運動や実績が生まれる
全体のアンケートと一緒に、地域ごとの問題や要求について聞くアンケートが配られました。このアンケートが区政を動かす大きな力を発揮しています。

**基本計画は開発優先
区民のくらしを応援せよ**
去年、区の今後十年間の新しい基本計画が発表され、今年はその基づく四年間の前期実施計画が示されました。前期実施計画には、事業費九一二億、一二二の事業がありますが、七八、七%が街づくり関連、福祉関連はわずか五、七%です。

基本計画のプロジェクトには、区役所を十年後までに建替える一方で、区民に身近な公共施設を例外なくリストラしていくプロジェクトがあります。

また、低所得者福祉の事業はなく、国民健康保険料や介護保険料などを上げ続けるのに、区民負担の増大を少しでも緩和する施策が少ないのが特徴です。

今後、生活保護の切り下げにリンクした非課税限度額の切り下げや消費税増税など、区民のくらしがますます圧迫されることが行われようとしています。そこに心を寄せた計画がありません。

無料生活法律相談

区内で週に1〜2回の割合で無料生活法律相談を行っています。何でもお気軽に相談下さい。
(事前に連絡をお願いします。)

第三水曜日

中村しんご区議

090(8686)2671

第二木曜日

三小田准一区議

090(8040)1181

第四水曜日

中江秀夫区議

090(2176)5756

第三金曜日

おりかさ明実区議

090(3524)6719

第一水曜日

天野ゆうや 事務所
渡辺キヨ子

080(6700)5960

党都政対策委員長

和泉なおみ 社会保険労務士

03(3697)2101



くらし応援で区政をリード

区民とともに実現

23区トップレベル の耐震補強助成

一昨年の震災以前から、共産党区議団は区内に旧耐震基準の木造住宅が三万戸以上あり、耐震補強を進めるために思い切った助成制度の拡充が必要だと主張してきました。

今年度からは耐震診断は上限五万円ですが原則無料。耐震補強の助成は、上限百六十万円、補助率も三分の二と大幅に拡充されました。

給食費が一部無料に

今年度から、区内の小中学校に三人以上の子どもを通わせる家庭の、第三子以降の子どもへの給食費が無料になります。

また、党区議団は子どもた



区政報告会で議会報告をする三小田准一区議

待機者に心寄よせる 特養の増設計画を

区の特別養護老人ホームに申し込んで入所を待っている人のうち、亡くなった方が、七三〇人にも上ることが日本共産党の追及でわかりました。これは六年間の合計で、区が待機者の現状を六年も把握していなかったことが図らずも明らかになり、議会での追及で「増設は十分ではなかった」と区長は認めました。

今議会には、高砂団地跡地に特養ホームを求める請願が、七四〇〇筆もの署名を添えて再度提出されましたが、共産党以外の会派が反対し、請願を不採択としました。特養ホームの増設に背を向ける区とオール与党の冷たい姿が浮彫りとなりましたが、待機者解消に見合う施設整備の計画を作ることが急がれます。

基本計画は開発優先 区民のくらしを応援せよ

去年、区の今後十年間の新しい基本計画が発表され、今年はそのに基づく四年間の前期実施計画が示されました。前期実施計画には、事業費九一二億、一二二の事業がありますが、七八、七%が街づくり関連、福祉関連はわずか五、七%です。

基本計画のプロジェクトには、区役所を十年後までに建て替える一方で、区民に身近な公共施設を例外なくリストラしていくプロジェクトがあります。

ワクチン助成が充実

子宮頸がんワクチンに続いて、今年からはヒブ、小児肺炎球菌のワクチンが無料となります。

今議会でもとりあげた交通の不便地域の問題も、改めて調査を行う検討をするという前向きな答弁を引出しました。

アンケートで運動や実績が生まれる

全体のアンケートと一緒に、地域ごとの問題や要求について聞くアンケートが配られました。このアンケートが区政を動かす大きな力を発揮しています。

高砂や小菅では、保健センター廃止反対の声が大きく起こり、署名運動に発展しています。

南水元地域では、地域循環バスの運行改善をバス会社に入し入れ、実現される成果が上がっています。



無料生活法律相談

区内で週に1〜2回の割合で無料生活法律相談を行っています。何でもお気軽にご相談下さい。

(事前に連絡をお願いします。)

第三水曜日

中村しんじ区議

090(8686)2671

第二木曜日

三小田准一区議

090(8040)1181

第四水曜日

中江秀夫区議

090(2176)5756

第三金曜日

おりかさ明実区議

090(3524)6719

第一水曜日

天野ゆうや 事務所
渡辺キヨ子

080(6700)5960

党都政対策委員長

和泉なおみ 社会保険労務士

03(3697)2101

くらし応援で区政をリード

区民とともに実現

23区トップレベル の耐震補強助成

一昨年の震災以前から、共産党区議団は区内に旧耐震基準の木造住宅が三万戸以上あり、耐震補強を進めるために思い切った助成制度の拡充が必要だと主張してきました。

今年度からは耐震診断は上限五万円ですが原則無料。耐震補強の助成は、上限百六十万円、補助率も三分の二と大幅に拡充されました。

給食費が一部無料に

今年度から、区内の小中学校に三人以上の子どもを通わせる家庭の、第三子以降の子どもの給食費が無料になります。

また、党区議団は子どもた



街頭で区政報告をする中江秀夫区議

待機者に心寄よせる 特養の増設計画を

区の特別養護老人ホームに申し込んで入所を待っている人のうち、亡くなった方が、七三〇人にも上ることが日本共産党の追及でわかりました。これは六年間の合計で、区が待機者の現状を六年も把握していなかったことが図らずも明らかになり、議会での追及で「増設は十分ではなかった」と区長は認めました。

今議会には、高砂団地跡地に特養ホームを求める請願が、七四〇〇筆もの署名を添えて再度提出されましたが、共産党以外の会派が反対し、請願を不採択としました。特養ホームの増設に背を向ける区とオール与党の冷たい姿が浮彫りとなりましたが、待機者解消に見合う施設整備の計画を作ることが急がれます。



基本計画は開発優先 区民のくらしを応援せよ

去年、区の今後十年間の新しい基本計画が発表され、今年はそのに基づく四年間の前期実施計画が示されました。前期実施計画には、事業費九一二億、一二二の事業がありますが、七八、七%が街づくり関連、福祉関連はわずか五、七%です。

基本計画のプロジェクトには、区役所を十年後までに建て替える一方で、区民に身近な公共施設を例外なくリストラしていくプロジェクトがあります。

去年、区の今後十年間の新しい基本計画が発表され、今年はそのに基づく四年間の前期実施計画が示されました。前期実施計画には、事業費九一二億、一二二の事業がありますが、七八、七%が街づくり関連、福祉関連はわずか五、七%です。

ワクチン助成が充実

子宮頸がんワクチンに続いて、今年からはヒブ、小児肺炎球菌のワクチンが無料となります。

今議会でもとりあげた交通の不便地域の問題も、改めて調査を行う検討をするという前向きな答弁を引出しました。

アンケートで運動や実績が生まれる

全体のアンケートと一緒に、地域ごとの問題や要求について聞くアンケートが配られました。このアンケートが区政を動かす大きな力を発揮しています。

高砂や小菅では、保健センター廃止反対の声が大きく起こり、署名運動に発展しています。

南水元地域では、地域循環バスの運行改善をバス会社に入し入れ、実現される成果が上がっています。

無料生活法律相談

区内で週に1〜2回の割合で無料生活法律相談を行っています。何でもお気軽に「相談下さい。」（事前に連絡をお願いします。）

第三水曜日



中村しんご区議
090(8686)2671

第二木曜日



三小田准一区議
090(8040)1181

第四水曜日



中江秀夫区議
090(2176)5756

第三金曜日



おりかさ明実区議
090(3524)6719

第一水曜日



天野ゆうや事務所
渡辺キヨ子
080(6700)5960



党都政対策委員長
和泉なおみ 社会保険労務士
03(3697)2101

くらし応援で区政をリード



区政報告会で議会報告をするおりかさ明実区議

区民とともに実現

23区トップレベル

の耐震補強助成

一昨年の震災以前から、共産党区議団は区内に旧耐震基準の木造住宅が三万戸以上あり、耐震補強を進めるために思い切った助成制度の拡充が必要だと主張してきました。

今年度からは耐震診断は上限五万円ですが原則無料。耐震補強の助成は、上限百六十万円、補助率も三分の二と大幅に拡充されました。

給食費が一部無料に

今年度から、区内の小中学校に三人以上の子どもを通わせる家庭の、第三子以降の子どもの給食費が無料になります。

また、党区議団は子どもた

待機者に心寄せせる 特養の増設計画を

区の特養養護老人ホームに申し込んで入所を待っている人のうち、亡くなった方が、七三〇人にも上ることが日本共産党の追及でわかりました。これは六年間の合計で、区が待機者の現状を六年も把握していなかったことが図らずも明らかになり、議会での追及で「増設は十分ではなかった」と区長は認めました。

ワクチン助成が充実

子宮頸がんワクチンに続いて、今年からはヒブ、小児肺炎球菌のワクチンが無料となります。

今議会でもとりあげた交通の不便地域の問題も、改めて調査を行う検討をするという前向きな答弁を引出しました。

基本計画は開発優先

区民のくらしを応援せよ

去年、区の今後十年間の新しい基本計画が発表され、今年はその基づく四年間の前期実施計画が示されました。前期実施計画には、事業費九二億、一二二の事業がありますが、七八、七%が街づくり関連、福祉関連はわずか五、七%です。

基本計画のプロジェクトには、区役所を十年後までに建替える一方で、区民に身近な公共施設を例外なくリストラしていくプロジェクトがあり

アンケートで運動や実績が生まれる

全体のアンケートと一緒に、地域ごとの問題や要求について聞くアンケートが配られました。このアンケートが区政を動かす大きな力を発揮しています。

高砂や小菅では、保健センター廃止反対の声が大きく起こり、署名運動に発展しています。

南水元地域では、地域循環バスの運行改善をバス会社に申し入れ、実現される成果が上がっています。



無料生活法律相談

区内で週に1〜2回の割合で無料生活法律相談を行っています。何でもお気軽に相談下さい。（事前に連絡をお願いします。）

第三水曜日

中村しんご区議

090(8686)2671

第二木曜日

三小田准一区議

090(8040)1181

第四水曜日

中江秀夫区議

090(2176)5756

第三金曜日

おりかさ明実区議

090(3524)6719

第一水曜日

天野ゆうや 事務所
渡辺キヨ子

080(6700)5960

党都政対策委員長

和泉なおみ 社会保険労務士

03(3697)2101

くらし応援で区政をリード

区民とともに実現

23区トップレベル の耐震補強助成

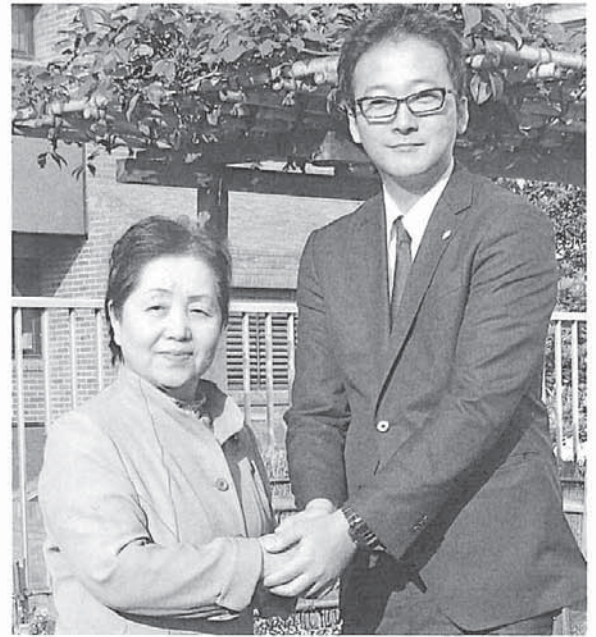
一昨年の震災以前から、共産党区議団は区内に旧耐震基準の木造住宅が三万戸以上あり、耐震補強を進めるために思い切った助成制度の拡充が必要だと主張してきました。

今年度からは耐震診断は上限五万円ですが原則無料。耐震補強の助成は、上限百六十万円、補助率も三分の二と大幅に拡充されました。

給食費が一部無料に

今年度から、区内の小中学校に三人以上の子どもを通わせる家庭の、第三子以降の子どもの給食費が無料になります。

また、党区議団は子どもた



天野ゆうや青年学生部長と握手する渡辺キヨ子区議

待機者に心寄よせる 特養の増設計画を

区の特別養護老人ホームに申し込んで入所を待っている人のうち、亡くなった方が、七三〇人にも上ることが日本共産党の追及でわかりました。これは六年間の合計で、区が待機者の現状を六年も把握していなかったことが図らずも明らかになり、議会での追及で「増設は十分ではなかった」と区長は認めました。

今議会には、高砂団地跡地に特養ホームを求める請願が、七四〇〇筆もの署名を添えて再度提出されましたが、共産党以外の会派が反対し、請願を不採択としました。特養ホームの増設に背を向ける区とオール与党の冷たい姿が浮彫りとなりましたが、待機者解消に見合う施設整備の計画を作ることが急がれます。

ちの夏休みを取り上げているのは子どもたちを疲れさせ、部活の試合などにも影響し、問題だと主張してきましたが、区教育委員会は、夏休みの縮減を来年度から見直します。さらに、学校選択制の問題点も、今後検討されることになりました。

ワクチン助成が充実

子宮頸がんワクチンに続いて、今年からはヒブ、小児肺炎球菌のワクチンが無料となります。

今議会でもとりあげた交通の不便地域の問題も、改めて調査を行う検討をするという前向きな答弁を引出しました。

基本計画は開発優先 区民のくらしを応援せよ

去年、区の今後十年間の新しい基本計画が発表され、今年はそのに基づく四年間の前期実施計画が示されました。前期実施計画には、事業費九一二億、一二二の事業がありますが、七八、七%が街づくり関連、福祉関連はわずか五、七%です。

基本計画のプロジェクトには、区役所を十年後までに建替える一方で、区民に身近な公共施設を例外なくリストラしていくプロジェクトがあり

ます。また、低所得者福祉の事業はなく、国民健康保険料や介護保険料などを上げ続けるのに、区民負担の増大を少しでも緩和する施策が少ないのが特徴です。

今後、生活保護の切り下げにリンクした非課税限度額の切り下げや消費税増税など、区民のくらしがますます圧迫されることが行われようとしています。そこを心寄せる計画がありません。

アンケートで運動や 実績が生まれる

全体のアンケートと一緒に、地域ごとの問題や要求について聞くアンケートが配られました。このアンケートが区政を動かす大きな力を発揮しています。

高砂や小菅では、保健センター一廃止反対の声が大きく起こり、署名運動に発展しています。

南水元地域では、地域循環バスの運行改善をバス会社に申し入れ、実現される成果が上がっています。



無料生活法律相談

区内で週に1〜2回の割合で無料生活法律相談を行っています。何でもお気軽にご相談下さい。

(事前に連絡をお願いします。)

第三水曜日

中村しんご区議

090(8686)2671

第二水曜日

三小田准一区議

090(8040)1181

第四水曜日

中江秀夫区議

090(2176)5756

第三金曜日

おりかさ明美区議

090(3524)6719

第一水曜日

天野ゆうや事務所

渡辺キヨ子

080(6700)5960

党都政対策委員長

和泉なおみ 社会保険労務士

03(3697)2101